

## まちの話題をピックアップ

### 省力化・効率化に向けて 宿利原干し大根の収穫を視察

干し大根栽培の省力化や機械化の検討に向けた取組みとして、鹿児島大学農学部 of 学部長ら13名が、宿利原地区の干し大根を視察しました。以前は100人以上いた生産者も現在は11人まで減少しています。生産者の黒瀬正さんは「省力化・機械化に加え、人手不足も課題。歴史ある産地を守りたい。」と話しました。



### 幻想的な冬の風物詩 大根やぐらライトアップ

今回で10回目の「大根やぐらライトアップイベント」が1月18日～19日の2日間宿利原地区で開催されました。会場では高さ7m、幅30～50mのやぐら約20基がライトアップされ、幻想的な雰囲気に包まれるなか、干し大根の販売やシシ汁のふるまいも行われました。



### 今年1年の無病息災を願い 伝統の「せっがい」を開催

「せっがい（鬼火焚き）」は、五穀豊穡や無病息災を願って100年以上前から田代地区で行われている伝統行事です。「季節変わり」が由来となり「せっがい」と呼ばれており、毎年節分の時期に開催されます。

花瀬地区では中学生や厄年の方などが火入れをし、厄払いの餅まきが行われました。



写真  
花瀬地区公民館

### これからの決意を込めて 田代中学校2年生が立志式

2月1日、かつての「元服」にあたる立志式が田代中学校で行われました。2年生12名がこれまでの自分を振り返り、これからの目標や決意を全校生徒や保護者の前で発表しました。式後は、統合後の初代田代中学校校長である畑中教育長が講話を行い、新たな一歩を踏み出す生徒たちを激励しました。

